

生態リスク初期評価結果一覧（15物質）

番号	CAS番号	物質名	有害性評価(PNECの根拠)			アセスメント係数	予測無影響濃度PNEC(μg/L)	公共用水域	予測環境中濃度PEC(μg/L)	PEC/PNEC比	総合的な判定 (注1)	過去の公表
			生物種	急性/慢性	エンドポイント							
環境1	105-39-5	クロロ酢酸エチル	甲殻類等 オオミジンコ	急性	EC <sub>50</sub> 遊泳阻害	1,000	1.6	淡水 — 海水 —	— — —	▲ (注2)	—	
環境2	17796-82-6	N-(シクロヘキシルチオ)フタルイミド	藻類等 緑藻類 / 甲殻類等 オオミジンコ	慢性	NOEC 生長阻害 / NOEC 繁殖阻害	100	1.4	淡水 — 海水 —	— — —	▲ (注2)	—	
環境3	554-00-7	2,4-ジクロロアニリン	甲殻類等 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	10	0.5	淡水 0.0028 海水 0.0024	0.006 0.005	○	第14次	
環境4	76-05-1	トリフルオロ酢酸	藻類等 緑藻類	慢性	NOEC 生長阻害	100	1	淡水 0.21 海水 0.42	0.2 0.4	▲	—	
環境5	55-18-5	N-ニトロソジエチルアミン	甲殻類等 ヨコエビ属	急性	LC <sub>50</sub> 死亡	1,000	500	淡水 0.0016 海水 —	0.000003 —	○	—	
環境6	62-75-9	N-ニトロソジメチルアミン	甲殻類等 ヨコエビ属	急性	LC <sub>50</sub> 死亡	1,000	280	淡水 0.0081 海水 < 0.06	0.00003 < 0.0002	○	第10次	
環境7	599-64-4	4-(2-フェニルプロパン-2-イル)フェノール	藻類等 緑藻類	慢性	NOEC 生長阻害	100	3.3	淡水 0.094 海水 0.0099	0.03 0.003	○	—	
環境8	2426-08-6	n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル	甲殻類等 オオミジンコ	急性	EC <sub>50</sub> 遊泳阻害	100	39	淡水 — 海水 —	— —	○	—	
環境9	101-68-8	メチレンビス(4,1-フェニレン)ジイソシアネート	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	淡水 (—) 海水 (—)	(—) (—)	(—)	—	
環境10	144-49-0	モノフルオロ酢酸	藻類等 緑藻類	慢性	NOEC 生長阻害	100	0.0024	淡水 < 0.00076 海水 < 0.00076	< 0.3 < 0.3	▲ (注2)	—	
生態1	381-73-7	ジフルオロ酢酸	藻類等 緑藻類	慢性	NOEC 生長阻害	100	0.18	淡水 < 0.00032 海水 < 0.00032	< 0.002 < 0.002	○	—	
生態2	79617-96-2	セルトラリン	藻類等 緑藻類	慢性	IC <sub>10</sub> 生長阻害	100	0.046	淡水 0.0036 海水 0.00044	0.08 0.01	○	—	
生態3	738-70-5	トリメプリム	甲殻類等 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	100	31	淡水 0.061 海水 < 0.005	0.002 < 0.0002	○	—	
生態4	61869-08-7	パロキセチン	藻類等 緑藻類	急性	EC <sub>50</sub> 生長阻害	1,000	0.13	淡水 0.0029 海水 < 0.00065	0.02 < 0.005	○	—	
生態5	57-41-0	フェニトイン	藻類等 緑藻類	慢性	NOEC 生長阻害	100	16	淡水 0.028 海水 < 0.0021	0.002 < 0.0001	○	—	

(注1) ○:現時点では更なる作業の必要性は低い、 ▲:更なる関連情報の収集に努める必要がある、 ■:詳細な評価を行う候補。

(注2) 限られた地域や過去(10年以上前)の公共用水域の実測データ、PRTRデータによる公共用水域濃度の推定値や公共用水域への排出量、媒体別分配割合の予測結果等を考慮して総合的に判定した。

(注3) PNEC導出のために採用できる毒性値は得られなかったが、その他の有害性情報等を考慮して総合的に判定した。

(注4) 表中において、—はデータ等がないこと、(—)は評価の対象外、あるいは評価を実施しなかったことを示す。